

和魂洋才 世界のリーダーへ

武田薬品工業 ①

挑戦 する企業

和を説く「規」

神戸市東灘区（東灘区）の閑静な住宅街に、「銜舂居」と呼ばれる洋館が建つ。武田薬品工業の創業者、6代目武田長兵衛の居宅として建築されたもので、現在は武田薬品の歴史を伝える史料館になっている。

展示物の中に、5代目武田長兵衛が1940年に定めた「規」がある。

全ての礎「タケダイズム」

十七条憲法を基にして制定された社是で、企業の社会的責任や社内協力による和の経営などを説いたものだ。「誠実・公正・正直・不屈」をうたった現在の武田薬品の経営哲学「タケダイズム」が日本人ではないので聞

エバーも、社長就任前の14年5月に訪問した。ウエバーは、なぜ自身が日本に来てタケダイズムを評価するようになったかとの問いに「正しい価値観と思うからだ。私が日本人ではないので聞

伝統尊重し「患者中心」貫く

も規の考え方が反映されている。

いわば、武田薬品の精神性に触れられる場が銜舂居。このため武田薬品に入社した外国人幹部が訪れ、学ぶ場でもある。

現社長のクリストフ・ウエバーも、社長就任前の14年5月に訪問した。ウエバーは、なぜ自身が日本に来てタケダイズムを評価するようになったかとの問いに「正しい価値観と思うからだ。私が日本人ではないので聞



事始めを行うウエバー社長

「当社が重視する価値観も素晴らしいものがあると感じてもらうはずだ」と自信を示すが、

社時点ですでに会社に根付いていた」と認識し、この点を踏まえた行動・判断基準を定めた。

常にも患者を中心に考え、社会との信頼関係を築き、評価を向上する。これらを実現した上で事業を引き継げるか

だが、アイルランド製薬大手シャイアーの買収後は、これまで以上に多い。

(敬称略)